

平成21年4月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミ ド リ 薬 品

代 表 者 の 役 職 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 百 崎 文 弘
(JASDAQ コード番号：2718)

問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 百 崎 栄 一

電 話 番 号 0 9 9 - 2 6 9 - 5 1 8 8 (代 表)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成21年2月期（平成20年3月1日～平成21年2月28日）の業績予想について、平成20年10月15日付当社「平成21年2月期 中間決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期業績予想の修正について（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(1) 連 結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A) (平成21年1月16日)	24,874	△38	△86	△618	△31,803 76
今 回 修 正 (B)	24,634	19	△38	△320	△16,461 10
増 減 額 (B - A)	△240	57	48	298	
増 減 率	△1.0%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月期)	23,788	422	394	35	1,813 56

(2) 個 別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A) (平成20年4月11日)	24,874	△153	△105	△627	△32,262 76
今 回 修 正 (B)	24,634	△87	△49	△324	△16,646 82
増 減 額 (B - A)	△240	66	56	303	
増 減 率	△1.0%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月期)	23,788	321	384	37	1,900 52

2. 通期業績予想の修正理由

(1) 連 結

米国サブプライムローンに端を発した昨年秋以降の世界的な景気後退により消費マインドも冷え込みました。一方では冬場インフルエンザの大流行が発生したことで医薬品、ヘルスケア用品を中心に購買需要が高まったものの、消費マインドの低下をカバーするまでには至りませんでした。売上高は予想比240百万円減少の24,634百万円（前期比3.6%の増加）となる見通しであります。

昨年上期に実施した各種販売促進活動等で低下した売上総利益率は、チラシセール等の見直し、売価設定の見直し等で下期回復し、さらに、販売促進費及び広告宣伝費等の経費の見直し、節減に努めた結果、営業利益は前回予想（△38百万円）から57百万円増加の19百万円（前期比95.3%の減少）と、黒字を確保する見込みであります。経常損失については、前回予想（86百万円）より48百万円減少の38百万円（前連結会計年度は経常利益394百万円）へ改善を見込んでおります。当期純損失については、「3. 特別損失の発生及びその内容」のとおり、320百万円（前連結会計年度は当期純利益35百万円）を見込んでおります。

(2) 個 別

同上の理由により、売上高は24,634百万円（前期比3.6%の増加）を見込んでおります。

損益状況につきましては、同上の理由により損失額は前回予想よりそれぞれ減少（改善）の見通しとなっており、営業損失87百万円（前事業年度は営業利益321百万円）、経常損失49百万円（前事業年度は経常利益384百万円）、当期純損失324百万円（前事業年度は当期純利益37百万円）となる見込みであります。

3. 特別損失の発生及びその内容

特別損失については、下期の利益回復もあり、当初想定していた541百万円から減少する見通しとなりました。内容として減損損失額194百万円、閉店費用等103百万円、貸倒引当金繰入額42百万円、合計で340百万円を計上する見込みであります。この結果、当期純損失は320百万円（前連結会計年度は当期純利益35百万円）を見込んでおります。

(ご 参 考)

平成21年2月期配当予定について

配当につきましては、平成20年10月15日に公表いたしましたとおり、1株当たり期末2,500円を予定しております。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上